

令和6年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和6年3月30日

事業所名：うじたわらむく福祉会にじい

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習スペース、余暇活動ルーム、クールダウンルームで分かれている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			構造化をしながら動線を考え、定期的な見直しを実施。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		年度初めに部署目標、個別目標を立て定例会議で読み合わせ、進捗状況の確認を実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表のみでなく面談で聞き取り実施。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			外部評価はなかったが、2023改正(案)を踏まえ、支援療育内容を定期的に見直した。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修は年間でスケジューリングされている。	社内研修及び外部研修の積極的参加。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		より具体的な支援計画を立てるため、毎日の活動・課題記録をデータに残す。行動分析表も含む。	それぞれ担当している利用者様への支援の進捗状況の把握。記録。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		自立課題・ASD・行動障がい等其々のアセスメントシートを作成、更新。	定期的な確認。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムを毎月保護者に配布。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メンバーにより曜日で固定する場合あり。(調理やリトミック、屋外活動など)	何らかの活動に参加できるよう柔軟に対応できる力。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別活動、集団活動(療育)を時間割で実施。	子どもたち主体で実施する活動プログラムの充実。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		短いスパンでアセスメントを実施し、特に個々で行う活動、学習については記録に残す。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼で確認。前日の振り返りも同様。	指導員間の声掛け。(現場支援時)
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		業務日誌、引継ぎノートにも記載をし、緊急性の高い案件が出た際はケース会議を実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		昨年度課題であったため、支援記録の際に書くべきポイントを(児童一人一人のもの)作成し、それを見ながらケース入力できるようにしている。また、法人内でもケース記録の書き方の研修を実施。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度のモニタリング・保護者面談。面談にはいつでも応じられる。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		毎月子ども会議を開催。子どもたちの主体性を育てられるように。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時での共有。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			対象児なし。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有の場あり。訪問や電話でのやり取り実施。移行支援シートの依頼。	気軽に見学や体験に来られるようなシステム作り。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		他事業所との連携については書面や電話でやり取りをしている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		支援学校に通っている児童についてはほほないため、交流できる機会は作りたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		今後児童部会が立ち上がる予定であり、積極的に参加をしていきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートの活用。送迎時の際の伝達。懇談の実施。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアトレは実施していないが、専門的視点からの相談援助はしている。個別での相談が年々増えてきている。	来年度、保護者対象の勉強会を予定。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に実施。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		いつでも懇談や電話で対応できることを伝達している。	保護者によっては一人で抱え込んでいる場合があるかもしれないことを考え支援する。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		ボランティア団体との連携、協力、父母会への参加。	親の会への参加や保護者交流会の実施を検討中。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		今年度は苦情0件であった。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月発行している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○		個人情報についての定期的にスタッフ間で共有。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				12月にマルシェを開催したが今後は地域の方にも来ていただけるよう検討したい。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		法人のマニュアルに見発、放デイ利用者名簿、緊急連絡先を貼り付け、事務所内に保管。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		法人内の訓練に参加したが、児童は参加できていない。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、利用サービス計画に記載しているか	○			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集、危機管理マニュアル、チェックシートを作成	